



---

**LYRIS** MailShield SERVER  
MailShield Server 4.2 ユーザガイド

<http://www.synaptive.com>

[info@synaptive.com](mailto:info@synaptive.com)

## MailShield Server 4.2 ユーザガイド

|                              |    |
|------------------------------|----|
| MailShield Server 4.2 ユーザガイド | 2  |
| はじめに                         | 3  |
| ユーザのログインおよびログアウト             | 3  |
| 初めて MailShield にログインする場合     | 3  |
| MailShield へのログイン            | 4  |
| メッセージ                        | 4  |
| メッセージの表示                     | 4  |
| 表示オプション                      | 5  |
| メッセージの検索                     | 6  |
| 有効メールとしてメッセージを再分類する          | 7  |
| メッセージの詳細                     | 7  |
| アクション                        | 7  |
| 無効メールとしてメッセージを再分類する          | 8  |
| メッセージの詳細                     | 8  |
| アクション                        | 8  |
| 設定                           | 8  |
| フィルタ                         | 9  |
| スパムスコア閾値                     | 9  |
| フラグ付メッセージを隔離する               | 9  |
| MailShield のヘッダを追加する         | 10 |
| フラグ付メッセージの件名に印を付ける           | 10 |
| 追加するテキスト                     | 10 |
| ホワイトリスト(信頼できる送信者リスト)への自動追加   | 10 |
| 信頼できる送信者以外にフラグを立てる           | 10 |
| 送信者                          | 10 |
| 送信者の表示                       | 10 |
| 表示オプション                      | 10 |
| 送信者の新規作成                     | 11 |
| マイメールアドレス                    | 11 |
| メールアドレスの追加                   | 11 |
| メールアドレスを追加できない場合             | 11 |
| 再分類                          | 12 |
| 有効メール                        | 12 |
| 無効メール                        | 12 |
| パスワード                        | 12 |

## はじめに

サーバ管理者が、MailShield Server を使用することで、スパムメールやメールアブュースからユーザを守ります。

MailShield Server は、メールをユーザに代わって受信、分析します。それから、管理者が設定したルールに従って、これらを許可するかフラグを付けるかを決定し、それぞれにスパムスコアを割り当てます。その後、これらのメールは、ユーザが行った設定に基づいて処理されます。

デフォルトでは、スパムである可能性が比較的高いメールは、全て隔離されます。しかし、MailShield のウェブインターフェースを通して、オンラインで隔離されたメールを表示することができます。

隔離されたメールを確認し、これをスパムメールでないと指定した場合には、このメールはユーザの元に送信されます。また、この送信者を「信頼できる送信者リスト」に加えると、確実に彼からのメールを受信できるようになります。

殆どのユーザは、“false positives” (スパムではないのに、間違っしてスパムと識別されるメール) を最小限にとどめつつ、スパムメールをフィルタするのに、デフォルト設定で充分だと考えています。しかし、MailShield により厳しく、またはもう少し緩めにメールの処理をさせたい場合には、ご自分の設定ページにてスパム閾値スコアを変更できます。

また、MailShield がスパムメールとしてフラグを付けたメールの処理方法を変更する事もできます。例えば、スパムとしてメールにフラグを付けて隔離する代わりに、あなたのメールクライアントがこのメールをフィルタできるように、MailShield に件名に印をつけさせて、あなたの元に送信させることもできます。

このガイドでは以下の事項を参照していただけます：

- ・ MailShield のウェブインターフェースへのログイン方法
- ・ メールメッセージの表示方法
- ・ メール処理設定の変更方法
- ・ 追加メールアドレスの追加方法

## ユーザのログインおよびログアウト

MailShield Server の管理者は、MailShield のウェブインターフェースへアクセスする URL をユーザに送信します。

MailShield に初めてログインする際には、ご自分のメールアドレスを確認する必要があります。確認のプロセスによって他の誰かがあなたのメールアドレスを勝手に使用することを防ぎます。

### 初めて MailShield にログインする場合

1. MailShield のメインページにて、「新規ユーザですか？」をクリックします。
2. メールアドレスの入力を求められますので、メールアドレスを入力し、「go」をクリックします。
3. 入力したメールアドレス宛てに確認メッセージが送信されます。“MailShield Server”からのメールを確認してください。
4. パスワードの入力を求められます。このパスワードは最低 4 文字以上でなければなりません。

5. パスワードの入力が終了したら、「ok」をクリックすると、MailShield に自動的にログインして、ユーザのメッセージページに行きます。

## MailShield へのログイン

1. MailShield のメインページにて、「ユーザログイン」をクリックします。
2. メールアドレスおよびパスワードを入力します。
3. 「ok」をクリックします。



## メッセージ

ログインすると、「メッセージ」のメインページが表示されます。デフォルトでは、スパムスコアが 90 以上のメッセージが表示されるようになっています。

MailShield はメッセージを受信する際、1 から 100 の範囲のスパムスコアをそれぞれのメッセージに割り当てます。このスパムスコアが高ければ高いほど、スパムメールである可能性が高くなります。また、管理者が作成したルールに従って、MailShield はメッセージにフラグを付ける場合があります。例えば、スパムスコアはそれ程高くなくても、周知のスパマーから送信されたメッセージの場合にはフラグが付けられます。

フラグが付けられたメッセージをどのように処理するかは、ご自身のフィルタ設定によって決まります。デフォルトでは、スパムスコアが 80 以上のメッセージにフラグを付け、隔離します。隔離されたメッセージは、あなたの元には送信されませんが、MailShield のウェブインタフェースにて確認することができます。また、あなたの管理者がこれらのデフォルト設定を変更する場合があります。

MailShield がスパムとしてフラグを付けたメッセージには、赤い封筒に黒い×印が付けられます。これらのメッセージを表示するには、その件名をクリックしてください。

あなたの元にメッセージを送信させ、信頼できる送信者として再分類したい場合には、該当するメッセージの  をクリックしてください。 をクリックすると、送信者を信頼できない送信者として、再分類します。



## メッセージの表示

メッセージタブには、一度に最大 10 件のメッセージが表示されます。「次へ」をクリックすると、次の 10 件が表示され、「前へ」をクリックすると前の 10 件が表示されます。一度に 10 件以上のメッセージを表示したい場合には、「より多く表示」をクリックしてください。繰り返し「より多く表示」をクリックすると、一度に 10 件以上のメッセージを表示します。

メッセージの区分け順序を変更したい場合には、それぞれのカラムの見出し横の三角の印をクリックしてください。オプションは以下の通りです：

### ステータス

メッセージのステータス：

|   |   |
|---|---|
|  | <b>有効メール:</b> 信頼できる送信者からのメッセージ          |
|  | <b>非分類メール:</b> スパムとはみなさないが、信頼できる送信者ではない |

|   |             |
|---|-------------|
|  | スパムメール: 未隔離 |
|  | スパムメール: 隔離  |

緑の封筒のメッセージは、管理上の設定、またはあなたが「信頼できる送信者」としてアドレスを追加したことで、無条件に許可されます。

### 差出人

メッセージの差出人とそのメールアドレス。

### 件名

メッセージの件名: メッセージを表示するには、件名をクリックしてください。

### 日付

メッセージを受信した日付および時間。



### スコア

スコアとは、MailShield がそれぞれのメッセージに割り当てる 1 から 100 までの数値のことで、スコアが 100 に近ければ近いほど、スパムの可能性が高くなります。

特定のメッセージを表示させるには、件名をクリックしてください。「メッセージの表示」ページが表示されます。

### オプション

全てのメッセージには、以下の 2 通りのオプションがあります:

|   |                   |
|---|-------------------|
|  | 信頼できる送信者として再分類する  |
|  | 信頼できない送信者として再分類する |

### 表示オプション

デフォルトでは、MailShield が受信したメッセージのうち、スパムスコアが 90 以下のメッセージが、このテーブルに表示されるようになっています。このデフォルト設定を変更するには、ページ左上のドロップダウンボックスよりオプションを選択して、「go」をクリックしてください。また、オプションは以下の通りです:

#### すべて

あなたのアドレス宛てに送信された全てのメッセージ。

#### 隔離済み

あなたのアドレス宛てに送信された全てのメッセージのうち、MailShield が隔離したメッセージ。

## 隔離済みおよびスコア 91 未満

あなたのアドレス宛てに送信された全てのメッセージのうち、MailShield が隔離し、割り当てたスパムスコアが 90 以下のメッセージ。これらのメッセージは、“false positives”（スパムではないのに、間違っ

## 未隔離

あなたのアドレス宛てに送信された全てのメッセージのうち、MailShield が隔離しなかったメッセージ。

## メッセージの検索

メッセージの検索をするには、「検索？」をクリックしてください。

### メッセージの検索

MailShield では、基本的なメッセージの検索ができます。

メッセージ内の以下の項目を検索できます：

#### ヘッダ

##### 宛先：

メッセージの宛先。

##### 差出人：

メッセージの差出人。

##### メッセージID

メッセージIDのヘッダ。

#### 日付

##### 以降に受信

ここで指定した日付以降に受信したメッセージを検索。日付は、YYYY-MM-DD HH-MM-SS のフォーマットで入力してください。

##### 以前に受信

ここで指定した日付以前に受信したメッセージを検索。日付は、YYYY-MM-DD HH-MM-SS のフォーマットで入力してください。

#### スコア


##### このスコアと同等もしくはそれ以上を対象

ここで指定したスコア値と同等か、もしくはそれより大きい値のメッセージを検索。

##### このスコアと同等もしくはそれ以下を対象

ここで指定したスコア値と同等か、もしくはそれより小さい値のメッセージを検索。

## 有効メールとしてメッセージを再分類する

特定のメッセージを有効メールとして再分類する場合には、該当するメッセージの右横の  をクリックしてください。「有効メールとして再分類」のページが表示されます。

## メッセージの詳細

メッセージの詳細では、それぞれのメッセージを見分け易くするために、メッセージヘッダからの情報を表示します。

### 受信日

メッセージを受信した日付。

### 差出人

メッセージの差出人のアドレス。送信者を、信頼できる送信者リストに追加すると、このアドレスが追加されます。

### 宛先

メッセージの宛先のアドレス。

### 件名

メッセージの件名。

### メッセージ ID

メッセージの ID。(この ID はヘッダにあるもので、メッセージに対する MailShield の ID ではありません。)

## アクション

以下のオプションは、メッセージの現ステータスによって、利用できるものとそうでないものがあります。また、[設定 : 再分類] のページにて、デフォルトでどのオプションにあらかじめチェックを入れておくか決定します。

### このメッセージを非隔離

このメッセージを隔離から削除し、自分の元へ送信させる。

### このメールアドレスから送信された全てのメッセージを非隔離

この送信者からの全てのメッセージを非隔離する。


### 信頼できる送信者リストにメールアドレスを追加

このメールアドレスを信頼できる送信者リストに追加し、この送信者からの全てのメッセージにフラグを付けないようにし、また隔離しないようにする。

### このメッセージをスパムでないとして、レポートする

ここにチェックを入れると、このメッセージは「信頼できるメール」として MSRS システムにレポートされ、フォールスポジティブの数を削減するのに使用されます。

## 無効メールとしてメッセージを再分類する

特定のメッセージを無効メールとして再分類する場合には、該当するメッセージの右横の  をクリックしてください。「無効メールとして再分類」のページが表示されます。

## メッセージの詳細

メッセージの詳細では、メッセージを見分け易くするために、メッセージのヘッダからの情報を表示します。

### 受信日

メッセージを受信した日付。

### 差出人

メッセージの差出人のアドレス。送信者を、信頼できない送信者リストに追加すると、このアドレスが追加されます。

### 宛先

メッセージの宛先のアドレス。

### 件名

メッセージの件名。

### メッセージ ID

メッセージの ID。(この ID はヘッダにあるもので、メッセージに対する MailShield の ID ではありません。)

## アクション

### 信頼できない送信者リストにメールアドレスを追加

このメールアドレスを信頼できない送信者リストに追加し、この送信者からの全てのメッセージにフラグを付けるか、隔離するようにする。

注意: スパマーの多くは、同じメールアドレスを 2 回使用することはないので、過去にこの送信者からメールを受信した事がある場合にのみ、この送信者を信頼できない送信者リストに追加することを推奨します。

### このメッセージをスパムとして、レポートする

ここにチェックを入れると、このメッセージがスパムとして MSRS システムにレポートされ、スパムの数を削減するために分析されます。

## 設定

設定では、MailShield のメール処理方法や、追加のメールアドレスの追加方法などの変更をすることができます。

## フィルタ

フィルタ設定によって、MailShield が受信したメールの処理後、そのメールに対するアクションを決定します。つまり、信頼できる送信者を指定して(ホワイトリスト)、そのメールにフラグを付けないようにしたり、信頼できない送信者を指定して(ブラックリスト)、スパムスコアのいかんにかかわらず、フラグを付けるように設定することができます。

### 送信者

信頼できる／できない送信者の表示、作成または削除。

### マイメールアドレス

ご自身のメールアドレスの追加、削除および確認ができます。

### 転送

別のアカウントにメールを転送。

### 再分類

デフォルトでは、メッセージを有効メールまたは無効メールとして再分類する際、MailShield が行うアクションを設定します。

### パスワード

ここにパスワードを編集できます。

## フィルタ

フィルタ設定によって、MailShield が受信したメールを処理した後、そのメールに対するアクションを決定します。

### スパムスコア閾値

あなたが受信するメールのスパムスコア閾値を指定します。MailShield は、1 から 100 までの範囲の数値をそれぞれの受信メッセージに割り当てます。(この数値が高ければ高いほど、スパムメールである可能性が高くなります。)

デフォルトでは、スパムスコアが 80 もしくはそれ以上の全てのメッセージにフラグを付けます。このスパムスコアの設定を低くすれば、より多くのメッセージがスパムであるとして、フラグが付けられます。例えば、0 と設定した場合には、全てのメッセージにフラグが付けられます。反対に、このスコアの設定を高くすれば、より少ないメッセージにフラグが付けられます。

### フラグ付メッセージを隔離する

指定したスパムスコアに基づいて、スパムであるとしてフラグが付けられたメッセージの処理方法を指定します。

デフォルトでは、「隔離する」と設定されています。つまり、このメールはあなたの元には送信されません。スパムとしてフラグが付けられたメッセージを、あなたの元に送信させるには、「いいえ」を選択してください。

## MailShield のヘッダを追加する

デフォルトでは、MailShield は、スパムメールとしてフラグが付けられたメッセージに、なぜフラグが付けられたかを示すヘッダを追加します。これらのヘッダを追加しないようにするには、「いいえ」を選択してください。

## フラグ付メッセージの件名に印を付ける

スパムとしてフラグが付けられたメッセージのサブジェクトラインを、MailShield に変更させるかどうかを指定します。デフォルトでは、MailShield は、サブジェクトラインの変更はしません。フラグ付メッセージの件名に印を付けるには、「はい」を選択してください。

## 追加するテキスト

スパムとしてフラグが付けられたメッセージのサブジェクトラインをタグするよう設定されている時、MailShield が使用するべきテキストを指定します。この設定後、このテキスト付きのメールが特定のフォルダにフィルタされるよう、ご自分のメールクライアントを設定してください。デフォルトでは、追加するテキストは「J U N K」となっています。

## ホワイトリスト(信頼できる送信者リスト)への自動追加

自動的に MailShield に、あなたが送信した宛先を全て信頼できる送信者リストに追加させたい場合には、「はい」を選択してください。そうすることで、あなたが送信したメールへの返信メールが隔離されることを防げます。

## 信頼できる送信者以外にフラグを立てる


あなたが指定した信頼できる送信者以外の送信者からの全てのメッセージに、自動的にフラグを付ける場合には、「はい」を選択してください。


## 送信者

送信者ページでは、信頼できる/できない送信者のテーブルが表示されます。新規に信頼できる/できない送信者を作成するには、「送信者の新規作成」をクリックしてください。また、「メッセージ」ページから信頼できる/できない送信者リストに、メールアドレスを追加することもできます。

送信者を削除するには、該当者の横の「削除」をクリックしてください。

## 送信者の表示

 信頼できる送信者(ホワイトリスト)とは、スパムスコアのいかんにかかわらず、MailShield がフラグを決して付けないメールアドレスのことです。フィルタ設定にて、あなたがメールを送信した先の全てのメールアドレスを、信頼できる送信者として指定すると、彼らからのメールが隔離されることはなくなります。

 信頼できない送信者(ブラックリスト)とは、スパムスコアのいかんにかかわらず、MailShield が常時フラグを付けるメールアドレスのことです。

### メールアドレス

送信者のメールアドレス。

## 表示オプション

デフォルトでは、全ての送信者、つまり信頼できる/できない送信者が、このテーブルにて表示されます。信頼できる送信者、またはできない送信者のどちらかのみを表示するには、ドロップダウンメニューボックスか

らオプションを選択し、「go」をクリックしてください。

## 送信者の新規作成

### メールアドレスまたはドメイン

追加したい送信者のメールアドレスまたはドメイン。例:

```
joe@example.com  
example.com
```

### タイプ

送信者を信頼できる送信者(ホワイトリスト)として分類するかしないか。信頼できる送信者として分類した場合には、この送信者からのメールにはフラグは付きません。逆に、信頼できない送信者(ブラックリスト)からのメールにはフラグが付きます。

スパマーは頻繁にメールアドレスを変更するので、これらのメールアドレスを信頼できない送信者として登録しても、受信するスパムメールの数を効果的に減らすことは難しいかもしれません。しかしながら、ある特定の送信者が何度も同じメールアドレスを使って、スパムメールを送信してきた場合には、この機能を使うことで、確実にメッセージをブロックできます。

## マイメールアドレス

このページでは、MailShield に登録したあなたのメールアドレスが表示されます。このページにて、あなたのメールアドレスを追加または、削除する事ができます。注意:登録されているメールアドレスが1つだけの場合には、これを削除する事はできません。

あなたが追加したアドレスが未確認の場合、ステータスが「未確認」としてこのページに表示されます。その後あなたが確認をすれば、「通常」として表示されます。

追加した全てのメールアドレスの確認を必ず行ってください。この確認プロセスによって、確実に他の誰かがあなたのメールを読むことを防げます。

もしメールアドレスが未確認の場合には、確認メールを再送するか、または確認コードを入力するかの2つのオプションがあります。もしくは、未確認アドレスに送られてきたメールを管理したくないのであれば、このメールを削除する事もできます。

## メールアドレスの追加

1. 「アドレスの追加」をクリックし、追加のメールアドレスを入力し、「ok」をクリックします。
2. 入力したメールアドレス宛てに、確認メッセージが送信されますので、MailShield Server からのメッセージを確認してください。
3. このメッセージ内にある確認リンクをクリックしてください。

## メールアドレスを追加できない場合

他のユーザが既に使用しているメールアドレスは、使えません。ある特定のメールアドレスが絶対にご自分のものだと思う場合には、サーバ管理者に相談してください。

## 再分類

これらの設定は、「メッセージ」ページにてメッセージを再分類した際の、デフォルトでのアクションを決定します。

### 有効メール

#### 指定したメッセージを非隔離

ここにチェックを入れると、可能な場合に、選択したメッセージを自動的に非隔離します。

#### この送信者からの全メッセージを非隔離

ここにチェックを入れると、今現在隔離されている、この送信者からの全てのメッセージを自動的に非隔離します。

#### 信頼できる送信者リストに送信者を追加

ここにチェックを入れると、送信者のメールアドレスは、信頼できる送信者として、送信者リストに追加されます。つまり、この送信者からの全てのメッセージは、スパムスコアのいかんにかかわらず、あなたの元に送信されるようになります。

#### このメッセージをスパムでないとして、レポートする

ここにチェックを入れると、このメッセージは「信頼できるメール」として MSRS システムにレポートされ、フォールスポジティブの数を削減するのに使用されます。

### 無効メール

#### 信頼できない送信者リストに送信者を追加

ここにチェックを入れると、送信者のメールアドレスは、信頼できない送信者として、送信者リストに追加されます。つまり、この送信者からの全てのメッセージは、スパムスコアのいかんにかかわらず、スパムメールとしてフラグを付けられます。

#### このメッセージをスパムとして、レポートする

ここにチェックを入れると、このメッセージがスパムとして MSRS システムにレポートされ、スパムの数を削減するために分析されます。

## パスワード

### パスワード

ご自分のパスワードは、ここに隠されています。これを変更するには、新しいパスワードを入力し、確認のため再入力してください。